

愛知県内で対策が必要な移入種

ここでは、特に自然環境などへの影響があり、対策の必要性が高い代表的な移入種を30種ピックアップして解説します。

【ページの見方】

種の解説

哺乳類

鳥類

は虫類

両生類

魚類

昆虫類

クモ類

貝類

甲殻類

植物

移入種の名称

種の概要

オオクチバス

「ブラックバス」の呼び名で有名です。池や川で、他の魚などさまざまな動物を食べるため、非常に深刻な影響を与えています。

原産地
北アメリカ。

形態と生態
成長すると、全長30~50cmの大きさになる。岸边などの水深の浅い場所に巣(産卵床)をつくり、雄親が卵や子どもを外敵から守り、育てる習性がある。

移入経路と現状
食用や釣り魚とすることなどを目的として、神奈川県芦ノ湖に持ち込まれた。一般的な呼び方である「ブラックバス」の名称は、オオクチバスや同属のコクチバスなど数種の総称。現在では日本各地に広がり、愛知県内でも、広い範囲で生息が確認されている。主に湖や池などに生息し、河川では下流の淀みなど流れの緩やかな場所によく見られる。海水と淡水が混ざる汽水域でも生息が確認されている。

影響
他の魚類をはじめ、エビ類や水生昆虫などさまざまな動物を食べるほか、トンボなどの陸上昆虫や鳥の雛、ネズミの仲間を捕食する例もある。オオクチバスの侵入後、在来種の種数や個体数が減ってしまった池や湖もあり、在来生態系への影響が非常に大きい。

類似種との識別点
コクチバス(特定外来生物)は、口が小さく、目の位置の直下まで止まっている。

対策
人工的な産卵床の設置や池干しによる駆除が行われている(③移入種対策事例を参照)。そのほか、網や釣りによる捕獲や、湖の水位調整による対策なども行われている。

目、科、学名

スズキ目サンフィッシュ科
学名: *Micropterus salmoides*

分類群(※1)

法令などによる選定状況(※2)

選定状況

条例公表	特定外来	要注意	日本ワースト100	世界ワースト100
------	------	-----	-----------	-----------

県内の確認状況

県内を17のブロックに区分し、区域内で確認記録があればグレーに着色

全長30cmを超える個体

全長30cmを超える個体

識別ポイント:
口の大きさが違う

オオクチバスとコクチバスの違い

識別ポイントなど

(東京都島しょ農林水産総合センターHPより)

※1 分類群



※2 法令などによる選定状況（73、75ページ参照）



【掲載種一覧】

分類群	種名	選定状況					掲載 ページ
		条例 公表種	特定 外来 生物	要 注意 外来 生物	日本 ワースト 100	世界 ワースト 100	
哺乳類	アライグマ		○		○		15
	ヌートリア		○		○	○	16
	ハクビシン	○					17
鳥類	コブハクチョウ	○					18
は虫類	ミシシッピアカミミガメ	※3		※3	○	○	19
魚類	オオクチバス		○		○	○	21
	コイ					○	22
	ブルーギル		○		○		23
昆虫類	アルゼンチンアリ		○		○	○	24
	クワガタムシ科	○		○			25
	台湾タケクマバチ	○					27
クモ類	セアカゴケグモ		○		○		28
貝類	カワヒバリガイ		※4		○		29
	スクミリンゴガイ	○		○	○	○	30
甲殻類	アメリカザリガニ			○	○		31
植物	アツバキミガヨラン	○					32
	アレチウリ		○		○		33
	ウチワサボテン属	○		※5		※5	34
	オオカナダモ			○	○		35
	オオキンケイギク		○		○		36
	キショウブ	○		○	○		37
	スイレン属	○					38
	タカネマツムシソウ	○					39
	トウネズミモチ	○		○			40
	ノハカタカラクサ	○		○			41
	ハゴロモモ	○		○			42
	ハリエンジュ			○	○		43
	ボンボンアザミ	○					44
	ヒガタアシ	○					45
	モウソウチク	○					47

※3 「アカミミガメ」として選定されています。

※4 カワヒバリガイ属の全種として指定されています。

※5 ウチワサボテン属の1種「センニンサボテン (*Opuntia stricta*)」が選定されています。